



No. 9
2011年1月31日

発行所：社会福祉法人しんじゅ
発行人：宮脇 テル子

本部事務所
東部生活・作業支援センター
たおじ分室
西部生活・作業支援センター
明芳分室
福祉の店“いたやど”
ステーションしんじゅ
ホームページ

☎821-1533 ☎657-0037 神戸市灘区備後町3-2-22
☎821-1586 ☎657-0037 神戸市灘区備後町3-2-22
☎987-2532 ☎651-1312 神戸市北区有野町有野字白原3689
☎782-9675 ☎655-0006 神戸市垂水区本多町7-2-3
☎733-2198 ☎654-0024 神戸市須磨区太田町6-4-4
☎733-2477 ☎654-0022 神戸市須磨区大黒町2-2-12
☎821-1533 ☎657-0037 神戸市灘区備後町3-2-22
<http://www.shinju.or.jp>

夢ある未来にむけて

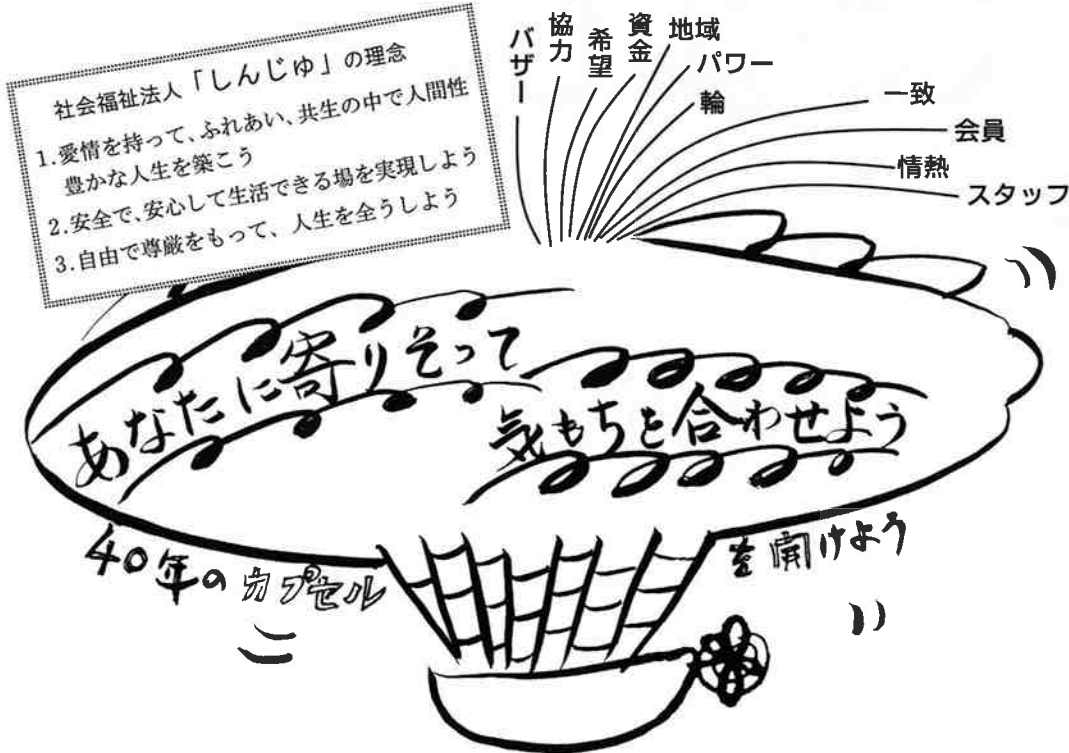
社会福祉法人しんじゅ

理事長 宮脇 テル子

明けましておめでとうございます。会員の皆様におかれましては良いお正月を迎えられたこととお喜び申し上げます。おかげさまでもちまして新施設ホーリーツリー建設は昨年暮れに最初の杭が打ち込まれ、いよいよ本年8月の竣工に向けて動き出しました。建設費の中の自己資金約一億円は寄付金と、40年にわたってのバザー収益の積み重ねや、法人事業所の残預金の合計であります。

昨年も神戸ハーバーランドスペースシアターでバザーを開催することができ、市民の皆様や神戸市内の学校PTAの方々、協力いただいた各種会社の方々に心よりお礼申し上げます。本年は品物も少なく危ぶまれていましたが、無事に終了することができ感謝でございます。

協力いただいた会員の皆様ボランティアの方々どうもありがとうございました。



『楽しむ 心地よい 安心 生きがい』

生活を！

障害者支援施設ホーリーツリーの建設にあたって、私達は生まれながら障がいがある方が家族からはなれ、また親亡き後、介護などのサポートを受けながら、自立して暮らすことのできる生活の実現を共に模索してきました。

日々の『暮らしを楽しむ』ことができる心地よい家を作ることがホーリーツリーのメインテーマでありました。それと共に生活をサポートするスタッフも効率よく働けることにより、心のゆとりが生まれ笑顔で接することができれば、共に楽しく暮らすことができるのではないかと考えました。

現在の制度に則り1階を生活支援「日中の場」、2階をケアホーム「夜間の場」（1階と2階は利用する人は同じでない。エレベーターも別）3階はショートステイと継続就労支援また入浴サービスで、4階は事務室、相談室、多目的ホール、応接室などです。尚、入浴サービスと多目的ホールは地域に貸し出されることになっています。

土地を購入してから足掛け6年になりますが、地域の方々の理解があつてこそ今日までこれたことを覚え、心より感謝申し上げます。なによりも約40年間支えていただいた友生養護学校・垂水養護学校の歴代校長先生始め諸先生方のご協力、ご指導によりここまで来られたことをまた神戸市様や関係諸機関の皆様方に心よりお礼申し上げます。

ガイドヘルパー養成講座7期生募集

〔兵庫県指定〕全身性障害者移動介護従事者養成研修

障害をお持ちの方の外出介助を行うためには、本資格の取得が必要です。
※修了者には、兵庫県指定の修了証書を発行致します

- 受講資格 障害のある方をヘルプしようと思ってる方なら、どなたでもお越しください。一流講師がお待ちしております。
- 募集人数 20名（定員を超えた場合は選考の上決定）
- 受講料 18,500円（別途テキスト代3,150円）
学割あります（2割引）
- 研修場所 社会福祉法人しんじゅ 東部生活・作業支援センター2F
住所 〒657-0037 神戸市灘区備後町3丁目2-22
☎ 078-821-1533 FAX 078-821-1535
JR六甲道駅下車徒歩2分 西病院の東隣です。
- 講義日 平成23年2月19日（土）、2月26日（土）
- 時間割 2/19 AM9:00~PM6:00 2/26 AM9:00~PM6:00
修了書発行
- 募集締め切り日 平成23年2月15日（火）

その他、時間割の詳しい点、また申込みについてのお問い合わせ先につきましては社会福祉法人「しんじゅ」事務局担当者・藤井律子までお問い合わせください
(078) 821-1535

一 報

安田英子先生 牛村和子様 逝かれる
友生養護学校、垂水養護学校両校で教鞭をとられた安田英子先生が永眠されたという通知をいただきました。先生は子供にだけでなく親にも厳しく教育されたことをなつかしく思い出されます。
神樹の会設立当時から親の代表の一人として先頭に立ち、当会の基礎を築いてこられた牛村和子様が9月に他界されました。
お二人のご遺徳ご足跡をしのび冥福をお祈り申し上げます。
平成22年8月から平成23年1月までに次の方がお亡くなりになられました。心よりお悔やみ申し上げます。
*佐野 晃司様（東部生活・作業支援センター利用者）

2010年度 バザー収支決算

収入の部		支出の部	
項目	金額	項目	金額
1日目売り上げ	1,085,745	会場使用料	376,110
2日目売り上げ	664,981	会場設営費	400,000
会場募金	5,967	消耗品費	47,071
委託・販売	135,900	通信運搬	38,220
その他売上	107,972	燃料代	12,420
寄付金	462,000	旅費交通費	13,250
		雑費	113,635
計	2,462,565		1,000,706

差引収益 ￥1,461,859

いたやどミニバザー

毎月2回いたやど福祉シヨツプ前で午前10時30分から午後2時30分まで開いています。
（雨天の場合は中止）
●開催日●
1月14日、25日
2月15日、25日
3月10日、25日
4月15日、25日

全体保護者会

ホーリーツリーの竣工が8月末日になっています。ご報告などありますので全体保護者会を次年度4月に予定しています。日時は決定次第お知らせします。

感謝

次の個人・団体から寄付・寄贈がありました。
心より感謝申し上げます。
※財団法人 兵庫県肢体不自由児協会様
※東郷 賢治様
※大倉 悦子様
※宮脇テル子様

その他バザー関係として、多くの方々より頂戴しています

お知らせ

♪つんたこ... ♪行ってきました

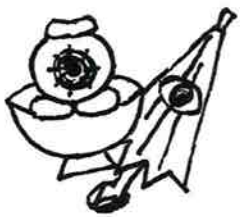
たおじ分室

★鳥取2大スター 『鬼太郎&コナン』を訪ねて★

11月7日・8日の一泊旅行。ゲゲゲの鬼太郎に会いに行くのは2回目。
今回はJR境線の妖怪列車の鬼太郎号に乗車。米子駅から境港駅までの50分間。周りの人達の優しさに触れることができ、とても嬉しい車中でした。電車の中で親切にしてくださった皆様に感謝!!

青山剛昌・水木しげる、2人の巨匠の人柄にふれる事ができ、またテレビで紹介されていたお土産をゲットし、みんなご満悦。一泊旅行の楽しい旅は終わりました。

今年のもう一つの楽しみだったルミナリエのハートフルデイにも参加することが出来ました。天候に恵まれNHKのテレビにも放映され、良い思い出になりました。



サービス管理責任者 太田すみ代

明芳分室

★東京デイズニールランド

珍道中★



11月18日、利用者9名・保護者7名・ボランティア2名・職員4名。新幹線に乗っていざ東京デイズニールランドへ。
ゲートをくぐると、解散の声が終わらぬうちにSさんは右へ、Kさんは左へ、Nさんは何処にいったの??
ワールドバザールの中央に大きなツリー。Oさん、Dさんはその下でピースサイン。皆の後について行こっ!誰を指しているのやら...
昼のパレード、夜のパレード、おとぎの世界にみんなの顔も笑顔になり幸せな気持ちになる。Kさんが買って来たポップコーンをほおばっている。みんないつもよりも数倍も素敵な表情。躍動感に感動。プロフェッショナルに感動。癒されて、ドキドキして!さすが夢の国。
何倍も楽しい旅にしてくださいました皆様に感謝しています。

明芳分室パート支援員 松下 益美

東部生活・作業支援センター

★USJへの外出★

USJの駐車場につくと微かに聞こえるクリスマスソング。少し歩くとクリスマスの飾りに彩られた門と、大きな地球儀が出迎えてくれた。

ふと視線を横にするとみんなの笑顔。別世界にでも来たかのようにキラキラと周りを見渡し、人の多さに困惑しながらも目はキラキラ。バックに流れるクリスマスソングを口ずさみ、自然と身体もリズムを刻む。

初めてUSJに行かれた方も何度か行かれている方も、口を揃えて帰り道には『楽しかった~!!また行きたいなあ。』との声をあげている。その声は何よりも嬉しかった。

今回の野外活動実施にあたり、心無い声や個人的事情の意見もあったが、利用者とともに外出し、みんなの新鮮な姿を見ることができて、外出を実施してよかったと心から思っている。



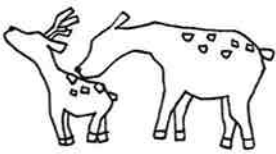
生活支援員 近藤 恭弘

西部生活・作業支援センター

★古都奈良を楽しむ★

9月30日・10月1日に大阪・奈良方面へ一泊旅行にいつてきました。
一日目は雨天の為USJ行きが中止となりました。大阪ではインスタントラーメン博物館で自分の好きなラーメン作りを体験しました。その後、大阪の時空館を見学しました。

二日目は好転に恵まれて、奈良の平城京遷都1300年祭を見学しました。会場であつたに会えないマスコット「せんとくん」と逢えて皆さん喜んでいました。



その後、東大寺に行きました。雄大な大仏さんをバックに記念写真を撮りました。また、奈良公園の鹿にせんべいを与えたりして楽しみました。古都奈良を満喫した旅行でした。

サービス管理責任者 八幡 頼秀

現場からの声

主任 加藤 寛子

ここ数年前から様々なニーズの利用者の受け入れが増えてきました。多くの生活介護事業所には無いサービスとして、日常生活を送るにあたり医療ケアを必要とされる方々にもサービスを受けてもらえるようにとの思いから、多様化するニーズの一つとして看護師を常時1人以上配置しています。

『しんじゅは看護師がいるから...』と、医療ケアを必要とする方々から利用者希望の声が増えていきます。他の事業所で対応するのが困難なことを担うことができ、大変嬉しいことではあります。しかし、事業所の活動内容などの検討が必要であったり、事業所経営への負担であったり、多くのリスクを抱えているのが現状です。正直なところ公費・一部の補助金のみでのサービスの向上に限界さを感じています。そんな中でもスタッフは『主役は利用者』という想いで、時間・苦勞を惜しむことなく様々な努力をしてくれています。

今年度、東部生活・作業支援センターの一泊旅行は、実施するための最低人数

編集後記

毎日寒い日が続いておりますがいかがお過ごしでしょうか?お風邪など召されておられませんでしょうか?

日頃から「しんじゅ」にご協力いただき有り難うございます。心より感謝いたしております。

会報9号が出来上がりました。どうぞご覧になって下さいませ。



(広報一同)

の参加が確保できなかった為、中止となりました。保護者の方々の身体的理由で付き添いができないために参加できない利用者も年々増えてきているため、春の保護者会でアンケートをとったところ「センターが休みになるが付き添いなしで外出してほしい」という項目に半数以上の方の賛成がありました。日中活動中にも多くの利用者から「どこかに外出したい」との声が多くあがり、『利用者の声』を大切にしたいという思いから、USJへの外出を計画することになりました。
本来であれば数週間にわけて実施したかったのですが、ご存知のとおりホーリーツリーの建築も進む中、業務の都合上限られた期間(1週間)のみでの実施しか叶いませんでした。実施するにはまず、週5日から4日間来所している利用者の方々のお休みを最小限にすることから考えました。生活支援員で何度も何度も検討を繰り返しました。
初めての試み。やってみたいとわからない部分も多い。苦情がでることも覚悟の上で1日は通常通りの開所。最大3日間のお休みをお願いしようと思いましたが、大多数の方は協力してくれましたが、残念なことには日頃から保護者会やその他の行事に参加されていない方の中にご理解いただけない方もいらっしゃいました。私たち福祉サービスに従事する者は「利用者」を最優先」という気持ちで日々業務にあたっています。その想いだけでも理解していただける日が来ることを願っています。目まぐるしく変わる法律の中、誰のための福祉サービスなのか。今一度、皆様にも一緒に考えていただけたら幸いです。